

平成24年度 事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

学校法人 園田学園

(目次)

1	法人の概要	1
1	学校法人の沿革		
2	設置する学校・学部・学科・コース等		
3	入学定員と学生・生徒・園児数の状況		
4	役員・教職員の人数		
5	施設等の状況		
2	事業の概要	6
1	事業の概況		
2	財務の概要		
■	当該年度決算の概要		
①	【資金収支計算書】		
②	【消費収支計算書】		
③	【貸借対照表】		
3	参考資料	11
1	決算推移(過去5ヶ年と決算年度)		
2	人員推移(過去5ヶ年と決算年度)		

1 法人の概要

1 学校法人の沿革

(※:沿革については、大学は学部を、短期大学は学科を基に記載している。)

昭和12年12月	財団法人園田教育振興会を設立
昭和13年4月	園田高等女学校を開校
昭和22年4月	園田学園中学校を開校
昭和23年4月	園田学園高等学校を開校
昭和26年4月	学校法人園田学園を設立(私立学校法により財団法人園田教育振興会を改める)
昭和28年4月	園田学園幼稚園を開園
昭和30年4月	園田学園小学校を開校
昭和38年4月	園田学園女子短期大学を開学(家政科)
昭和41年4月	園田学園小学校の募集を停止 園田学園女子大学を開学(文学部)
昭和43年4月	園田学園女子短期大学に文科、幼児教育科を設置
昭和56年4月	園田学園女子大学短期大学附属学が丘幼稚園を開園
昭和58年4月	大岡山グリーンキャンパスを開設(兵庫県豊岡市)
平成1年2月	園田学園女子大学附置近松研究所を開設
平成5年4月	そのだクライストチャーチ・キャンパス(SCC)を開設 (ニュージーランド・クライストチャーチ教育大学(現 カンタベリー大学))
	園田学園女子短期大学の家政科を生活文化学科に、幼児教育科を幼児教育学科に改称
平成6年4月	園田学園女子大学の文学部を改組し、国際文化学部を設置 園田学園女子大学短期大学の文科を改組し、国際文化学科を設置 園田学園女子短期大学を園田学園女子大学短期大学部に改称 園田学園女子短期大学附属学が丘幼稚園を園田学園女子大学短期大学部附属学が丘幼稚園に改称
平成9年3月	園田学園女子大学短期大学部の文科を廃止 園田学園小学校を廃止
平成11年3月	園田学園女子大学の文学部を廃止
平成13年3月	園田学園女子大学短期部の国際文化学科を廃止
平成14年4月	園田学園女子大学に人間健康学部を設置
平成18年4月	園田学園女子大学に未来デザイン学部を設置 園田学園女子大学短期大学部附属学が丘幼稚園を園田学園女子大学附属学が丘幼稚園に改称
平成20年4月	園田学園女子大学に人間教育学部を設置
平成22年3月	園田学園女子大学の国際文化学部を廃止

2 設置する学校・学部・学科・コース等

- (1)園田学園女子大学(昭和41年4月開学)
 - 未来デザイン学部 文化創造学科(平成22年4月から募集停止)
 - 人間健康学部 総合健康学科
人間看護学科
食物栄養学科
 - 人間教育学部 児童教育学科(平成20年4月開設)
- (2)園田学園女子大学短期大学部(昭和38年4月開学)
 - 生活文化学科
 - 幼児教育学科
- (3)園田学園高等学校(昭和23年4月開校)
 - 普通科 特別進学コース
総合進学コース
- (4)園田学園中学校(昭和22年4月開校)
- (5)園田学園幼稚園(昭和28年4月開園)
- (6)園田学園女子大学附属学が丘幼稚園(昭和56年4月開園)

3 入学定員と学生・生徒・園児数の状況(平成24年5月1日現在)

(1)園田学園女子大学

(単位:人)

年	学 部	学 科	定員	現員	対定員 差 異
1	未来デザイン学部	文化創造学科	(募集停止)		
	人間健康学部	総合健康学科	95	115	20
		人間看護学科	80	95	15
		食物栄養学科	80	89	9
	人間教育学部	児童教育学科	115	103	△ 12
小 計			370	402	32
2	未来デザイン学部	文化創造学科	(募集停止)		
	人間健康学部	総合健康学科	95	112	17
		人間看護学科	80	93	13
		食物栄養学科	80	78	△ 2
	人間教育学部	児童教育学科	115	54	△ 61
小 計			370	337	△ 33
3	未来デザイン学部	文化創造学科	(募集停止)		
	人間健康学部	総合健康学科	95	98	3
		人間看護学科	80	84	4
		食物栄養学科	80	81	1
	人間教育学部	児童教育学科	115	72	△ 43
小 計			370	335	△ 35
4	未来デザイン学部	文化創造学科	50	22	△ 28
	人間健康学部	総合健康学科	95	88	△ 7
		人間看護学科	80	91	11
		食物栄養学科	80	82	2
	人間教育学部	児童教育学科	95	61	△ 34
小 計			400	344	△ 56
合計	未来デザイン学部	文化創造学科	50	22	△ 28
	人間健康学部	総合健康学科	380	413	33
		人間看護学科	320	363	43
		食物栄養学科	320	330	10
	計			1,020	1,106
人間教育学部	児童教育学科	440	290	△ 150	
			1,510	1,418	△ 92

(2)園田学園女子大学短期大学部

(単位:人)

年		学 科	定員	現員	対定員 差 異
1	小	生活文化学科	90	71	△ 19
		幼児教育学科	120	126	6
		計	210	197	△ 13
2	小	生活文化学科	90	75	△ 15
		幼児教育学科	120	105	△ 15
		計	210	180	△ 30
合 計	生活文化学科		180	146	△ 34
	幼児教育学科		240	231	△ 9
			420	377	△ 43

(3)園田学園高等学校

(単位:人)

年	科	コ ー ス	募集人数	現員	対募集 差 異
1	普通科	特別進学コース	60	30	△ 30
		総合進学コース	250	147	△ 103
		計	310	177	△ 133
2	普通科	特別進学コース	60	24	△ 36
		総合進学コース	260	133	△ 127
		計	320	157	△ 163
3	普通科	特別進学コース	60	6	△ 54
		総合進学コース	260	135	△ 125
		計	320	141	△ 179
合 計	普通科	特別進学コース	180	60	△ 120
		総合進学コース	770	415	△ 355
			950	475	△ 475

(4)園田学園中学校

(単位:人)

年			募集人数	現員	対募集 差 異
1			60	34	△ 26
2			60	18	△ 42
3			60	21	△ 39
合 計			180	73	△ 107

(5)園田学園幼稚園

(単位:人)

年		組	募集人数	現員	対募集 差 異
1		年少	35	33	△ 2
2		年長	35	36	1
合 計			70	69	△ 1

(6)園田学園女子大学附属学が丘幼稚園

(単位:人)

年		組	募集人数	現員	対定員 差 異
1		年少	50	54	4
2		年中	70	71	1
3		年長	70	70	0
合 計			190	195	5

(7)園田学園合計

(単位:人)

			定員 (募集人数)	現員	対定員(募集) 差 異
学 園 総 計			3,320	2,607	△ 713

4 役員・教職員の人数(平成24年5月1日現在)

(1)役員・評議員 (単位:人)

区分	理事	監事	評議員
常勤	5	0	5
非常勤	4	2	17
合計	9	2	22

(2)職員 (単位:人)

区分	法人	大学	短大	高校	中学	園田幼稚園	学が丘幼稚園	学園合計
本務	4	63	14	7	1	0	1	90
兼務	0	42	3	7	0	1	3	56
合計	4	105	17	14	1	1	4	146

(3)教員

園田学園女子大学

(単位:人)

	専任						兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計		
未来デザイン学部	4	1	0	0	0	5	4	9
人間健康学部	28	21	4	9	14	76	73	149
人間教育学部	12	7	1	1	0	21	42	63
合計	44	29	5	10	14	102	119	221

園田学園女子大学短期大学部

(単位:人)

	専任						兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計		
生活文化学科	5	3	0	0	0	8	16	24
幼児教育学科	4	5	0	2	0	11	24	35
合計	9	8	0	2	0	19	40	59

園田学園高等学校

(単位:人)

	専任					兼任	合計
	教諭	助教諭	講師	助手	計		
合計	29	0	11	0	40	11	51

園田学園中学校

(単位:人)

	専任					兼任	合計
	教諭	助教諭	講師	助手	計		
合計	3	0	5	0	8	4	12

園田学園幼稚園

(単位:人)

	専任				兼任	合計
	教諭	助教諭		計		
合計	3	0		3	5	8

園田学園女子大学附属学が丘幼稚園

(単位:人)

	専任				兼任	合計
	教諭	助教諭		計		
合計	7	0		7	16	23

※兼任教員はプール指導教員を含む。

園田学園合計

(単位:人)

	専任					兼任	合計
	教授(諭)	准教授(諭)	講師	助手	計		
総計	95	37	21	12	179	195	374

※教授(諭)数には、学長、校長、園長を含む

5 施設等の状況

主な施設の状況は次のとおりである。

平成25年3月31日

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘要
尼崎市南塚口町7丁目29番1号 園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部	校地 校舎等 11棟	m ² 36,450.52 32,268.46	千円 233,072 6,349,021	千円 233,072 2,851,519	
尼崎市南塚口町7丁目23番17号 園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部	校地	1,161.00	224,797	224,797	
尼崎市栗山町1丁目57番地 園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部	校地 研修施設 1棟	3,894.56 184.27	785,240 23,868	785,240 1,588	
尼崎市南塚口町1丁目24番16号 園田学園中学校 園田学園高等学校	校地 校舎 3棟 体育館等 4棟	18,928.52 10,375.07 5,193.69	80,288 1,011,319 1,732,261	80,288 348,393 925,937	
尼崎市南塚口町2丁目18番21号 園田学園幼稚園	校地 園舎等 3棟	1,202.59 315.77	197,937 15,202	197,937 4,421	
神戸市垂水区学が丘1丁目10番 園田学園女子大学附属学が丘幼稚園	校地 園舎 1棟	2,000.11 1,388.48	88,205 276,246	88,205 84,582	

2 事業の概要

1. 事業の状況

はじめに

本学園は、「捨我精進－他者と支えあう人間の育成－」の建学の精神に基づき、各設置校でその設置の趣旨と時代の要請に呼応した教育を展開している。

しかしながら、近年の少子化、学生、生徒や保護者のニーズの多様化、および昨今の経済不況等により私学を取り巻く環境は年々厳しさを増している。さらに、大学・短期大学では、近隣大学での類似学部・学科の増設による定員の獲得競争、補助金の減少による競争的な補助金の獲得競争が進み、二極化が継続している。また、中学・高等学校では、公立高等学校の授業料無償化とそれにとまなう近隣府県の政策の違いにより、高等学校の生徒の確保はもとより、中学校の生徒の確保へも影響が及び激しい状況にある。

こうした状況を踏まえ、本学園は各設置校において充実した教育・研究活動を継続的にこなすための経営基盤の安定に向けて、平成18年度から進めた経営構造の適正化を基に、平成21年度に「学校法人園田学園 経営改善計画 平成21年度～平成25年度(5ヵ年)」を策定した。この「経営改善計画」の最終年度は平成25年度であり、それに向けて、平成24年度は重要な年度と認識し、事業を推進してきた。

特に、大学で平成26年度に実施される大学基準協会の第三者評価においては、前回(平成19年度)に指摘を受けた「学生の受け入れ」及び「財務」の改善を学園全体として達成することが必要条件であり、この達成に向けて、経営改善計画に基づき、取り組んできた施策のうち、主なものを述べる。

なお、各部門、部署の詳細な事業報告は、別紙「平成24年度事業報告」のとおりである。

I. 学生・生徒等の受け入れについて

定員充足又は維持のための積極的戦略策に基づき、次のことを重点に行なった。

1. 教育・研究内容の充実

○法人

①学園教育会議を設置し、学園の内部進学制度の改善を始めとする高校教育と大学教育の円滑な接続と連携の強化に努めた。

○大学・短期大学

①共通教育について、平成23年度に共通教育委員会で策定した新たなカリキュラムに基づき、学士力の向上に努めた。

②専門教育について、学部、学科の教育理念及び人材育成の目的に基づき、それぞれ学部、学科のカリキュラムの改善を行い、教育の質の向上に努めた。

③本学の特色である経験値教育について、「経験値教育手法活用研究会」を開催し、学内への浸透と具体的展開を試みた。

④教育・研究内容を充実させ教育の質を向上させることは、教育職員の使命であるため、各教員の研究業績の向上に努めた。

⑤研究内容の評価の一助として、また外部資金による研究環境の充実を目指し、科学研究費等への積極的な取り組みに努めた。(5件採択/19件申請)

⑥他学科との連携による教育・研究を推進し、本学の特色としての強みの醸成に努めた。

○中学校・高等学校

①女性学—女性の学び—を改善し、さらなる充実に向けて取り組みを進めた。

②授業アンケート、教育研究授業、教育課程研究の実施等により、授業改善と教員の教育力の向上、意識改革に努めた。

③高等学校では、平成25年度コース改編に向けて、基礎学力の向上を図るための公文教材の試行的導入し、一定の成果があったため、平成25年度から本格実施することとした。

④中学校では、習熟度別の授業方法を取り入れ、学力の伸長に努めた。

○幼稚園

①両幼稚園の交流研修や他の研修への参加、研究保育の実施等により、指導力と保育技術の向上に努めた。

2. 学生・生徒・園児の支援施策の充実

○大学・短期大学

①未来デザイン学部の最終年度であり、卒業と就職等の進路の支援について学部と担当部門がより協力し進めた。

②学生支援部に「資格支援課」を設置し、各種資格・免許等の事務を一元管理して、機能的な実習支援と学生支援に努めたが、学科との連携が不十分であり、機能的な支援が図れなかった。

③学生支援部学生課の保健指導室を部の直下組織とし、学生相談室を付して、学生の健康管理等への迅速な対応に努めた。

④学生支援部学生課に「国際交流室」を設置し、留学をする学生及び留学をしてくる学生へのきめ細やかな支援

に努めた。

○中学校・高等学校

- ①スポーツ振興室を設置し、生徒のスポーツ活動の支援、振興に努めた。
- ②情報機器の更新を行い、ワープロ検定、MOS検定の資格取得の支援に努めた。

○幼稚園

- ①園庭遊具等を整備し、園児の日常環境の充実を図った。

3. 戦略的・効果的な広報の展開

○大学・短期大学

- ①国家試験の合格率、資格を生かした就職率の向上を図るなど、各学科の特性を踏まえた日々の教育の成果による広報の展開に努めた。
- ②他大学の類似学科に比して、学科の特色となる教育・研究内容の積極的な広報に努めた。
- ③高等学校への出前授業等に積極的に出講し、直接、高校生に学科の教育を施し、入学動機に繋がる広報を図った。
- ④人間教育学部児童教育学科、短期大学部生活文化学科の募集広報活動について、学科教員と入試広報部職員がさらに協働し、広報の強化に努めた。
- ⑤スマートフォンやSNS向けの対応ページを新設し、平成25年度からの本稼働の環境を整えた。

○中学校・高等学校

- ①事務管理広報室を改編し、広報室を設置して、より機能的、効果的な広報業務を展開し、広報の強化に努めた。
- ②高校の平成25年度コース改編の特色について、積極的な広報の展開を図った。
- ③Web、新聞、車内吊り広告等のほか、ラジオCM、バス車外広告など多様な媒体を活用し、効果的な広報の拡大に努めた。

○幼稚園

- ①未就園児に対する子育て支援事業を積極的に行い、入園に繋がる取り組みに努めた。

II. 財務について

部署別決算単位において、平成25年度末での帰属収支差額黒字化を達成するため、平成24年度での帰属収入の増収と消費支出の削減に努めた。

○大学・短期大学

- ①帰属収入の増収については、入学者の増、退学者の減による在学学生数の増加による学生納付金の増収を図ることであり、そのためにも、教育の質の向上を図り、学生への教育の満足度を高めることに努め、退学者等の減員に努めた。
- ②消費支出については、平成24年度には教育用の情報機器の入れ替えによる導入経費が一時的に発生するが、経常的な経費については削減を図り、平成25年度の財務改善に繋げていくことに努めた。
- ③資金収支による支出については、経常的な経費については削減を図り、教室等の什器備品、視聴覚備品の更新など、教育環境の改善を年次計画的に行なっていき、平成25年度の財務改善に繋げていくことに努めた。

○中学校・高等学校

- ①帰属収支差額黒字化のためには、生徒数の増が必修条件であり、平成25年度のコース改編に全教職員一丸となり取り組みを図った。
- ②平成25年度に向けて中学・高校の規模の適正化を図り、教職員適正基準を設け、収支バランスの整った財政構造の構築を目指す途上である。

○幼稚園

- ①園児数が定員を達成しており帰属収支差額は黒字であるが、黒字額の増額に向けて、経営構造の見直しに努めた。

III. 人事について

経営改善計画に則った適正化に努めた。

○大学・短期大学

- ①共通教育を中心にカリキュラムの検討を行い、外部非常勤講師の出講数を減ずるとともに、専任教員の授業担当基準コマ数を見直し、適正化に努めた。
- ②組織の見直しなどにより、契約職員の適正化に努めた。

○中学校・高等学校

- ①平成25年度に向けて中学・高校の規模の適正化を図り、退職不補充を原則とし、授業運営、係等で支障がある場合は、総合的に判断するなど、教職員組織の適正化に努めた。

○幼稚園

- ①教職員数は適正人数であり、新任等の教員等について指導育成に努めた。

2 財務の概要

■ 平成24年度決算の概要

資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表について、その主な内容は次のとおりである。

①【資金収支計算書】

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	2,613,937	人件費支出	2,364,694
手数料収入	59,155	教育研究経費支出	823,545
寄付金収入	4,877	管理経費支出	271,404
補助金収入	696,382	借入金等利息支出	9,428
資産運用収入	31,173	借入金等返済支出	586,739
資産売却収入	560,147	施設関係支出	237
事業収入	145,600	設備関係支出	182,650
雑収入	167,826	資産運用支出	719,615
借入金収入	490,700	その他支出	308,083
前受金収入	555,501	資金支出調整勘定	△ 269,536
その他収入	463,111	次年度繰越支払資金	501,651
資金収入調整勘定	△ 708,902		
前年度繰越支払資金	419,003		
収入の部合計	5,498,510	支出の部合計	5,498,510

(1)収入の部

- 学生納付金収入は、学生・生徒・園児による入学金、授業料、教育充実費、実習費などである。
- 手数料収入は、平成25年度の入学検定料が主なものである。
- 寄付金収入は、大学・短期大学の育友会からの寄付金である。
- 補助金収入は、私立大学経常費補助金、兵庫県経常費補助金が主なものである。
- 資産運用収入は、定期預金利息、有価証券利息、施設設備利用料収入が主なものである。
- 資産売却収入は、長期、短期事業債等の満期償還、途中売却によるものである。
- 事業収入は、学生寮収入、公開講座収入等が主なものである。
- 雑収入は、退職金財団交付金が主なものである。
- 借入金収入は、長期借入金として、市中銀行での借り替えによるものである。
- 前受金収入は、平成25年度入学生の入学金、前期授業料、教育充実費、実験実習費等である。
- その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入、預り金受入収入などである。
- 資金収入調整勘定は、以上の発生収入のうち、期末未収入金となったもの、又は前年度にすでに入金された前期末前受金などの額を控除するものである。

(2)支出の部

- 人件費支出は、本務教職員給与、兼務教職員給与、退職金などの支出である。
- 教育研究経費支出は、各部門の教育活動に要した奨学費、光熱水費、消耗品費、報酬委託手数料などの資金支出である。
- 管理経費支出は、学生・生徒・園児募集、その他各部門の全般管理、法人などの活動に要した資金支出である。
- 借入金等利息支出は、日本私立学校振興・共済事業団、銀行からの借入金に対する利息支出である。
- 借入金等返済支出は、日本私立学校振興・共済事業団、銀行への借入金の返済支出である。
- 施設関係支出は、大学のソフトボール部優勝記念銘版、学び丘幼稚園の砂場ユニットが主な用途である。
- 設備関係支出は、教育研究用機器備品、その他の機器備品、図書の購入費である。
- 資産運用支出は、事業債等購入の支出である。
- その他の支出は、奨学貸付金、前期末未払金、預り金等の支出である。
- 予備費の使用はない。
- 資金支出調整勘定は、以上の発生支出のうち、期末未払金となったもの、又は前年度にすでに支払済みの前期末前払金の額を控除するものである。

②【消費収支計算書】

(単位:千円)

消費収入の部			消費支出の部		
科 目	決 算	構成比率	科 目	決 算	構成比率
学生生徒等納付金	2,613,937	67.7%	人件費	2,306,411	61.7%
手数料	59,155	1.5%	教育研究経費	1,123,852	30.1%
寄付金	8,507	0.2%	管理経費	285,623	7.6%
補助金	696,382	18.0%	借入金等利息	9,428	0.3%
資産運用収入	31,173	0.8%	資産処分差額	10,651	0.3%
資産売却差額	140,327	3.6%	徴収不能引当繰入額	0	0.0%
事業収入	145,600	3.8%	徴収不能額	0	0.0%
雑収入	168,679	4.4%	予備費	0	0.0%
帰属収入の部合計	3,863,760	100.0%	(減価償却額) (314,525)	
基本金組入額(△)	△ 65,911		消費支出の部合計	3,735,965	100.0%
消費収入の部合計額	3,797,849		当年度消費収入(△支出)超過額	61,884	
			前年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 9,937,574	
			翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	△ 9,875,690	

※(減価償却額)は、再掲

(1) 消費収入の部

- 帰属収入の部は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金などの法人に帰属する負債と
ならない収入である。
- 寄付金は、現物寄付金が含まれる。
- 基本金組入額は、当年度の機器備品・図書などの取得、過年度に施設・設備の取得のために
借り入れた借入金の返済などの資本的支出に充てる額である。
- 消費収入は、消費支出に充当できる収入のことで、帰属収入から基本金組入額を控除して算
出される。

(2)消費支出の部

- 人件費は、退職金について「資金支出」で実際に資金支出された額が計上されるが、「消費支
出」では、発生経費である退職給与引当金繰入額を含めて計上している。
- 教育研究経費及び管理経費は、発生経費である減価償却額を含めて計上している。
- 資産処分差額は、機器備品、図書などの廃棄に伴う除却損である。

(3)当年度消費収支差額等

- 当年度消費収支差額は収入超過である。これにより、前年度より支出超過額の減少となった。
- 消費収支差額は改善されており、今後も「経営構造の適正化策」にさらに取り組み、「平成25年
度帰属収支差額黒字化」を進めていく。

◎【貸借対照表】

貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由をご報告いたします。

(単位:千円)

資産の部				負債の部			
項目	前年度決算	決算	対前年度差異	項目	前年度決算	決算	対前年度差異
固定資産	9,609,913	9,671,786	61,873	固定負債	1,776,463	1,695,913	△ 80,550
有形固定資産	7,738,887	7,589,153	△ 149,734	長期借入金	629,374	532,535	△ 96,839
土地	2,133,275	2,122,202	△ 11,073	退職給与引当金	1,119,287	1,060,150	△ 59,137
建物	4,870,683	4,674,701	△ 195,982	長期未払金	27,802	103,228	75,426
構築物	257,097	236,323	△ 20,774	流動負債	917,816	966,791	48,975
教育用備品	270,068	360,103	90,035	短期借入金	99,339	100,139	800
その他備品	20,854	20,001	△ 853	未払金	179,610	193,924	14,314
図書	186,910	175,823	△ 11,087	前受金	543,202	555,502	12,300
建設仮勘定	0	0	0	預り金	72,660	92,079	19,419
その他固定資産	1,871,026	2,082,633	211,607	修学旅行費預り金	23,005	25,147	2,142
電話加入権	4,068	4,068	0	負債の部合計	2,694,279	2,662,704	△ 31,575
差入保証金	10,050	10,050	0	1号基本金	16,217,599	16,283,510	65,911
[徴収不能引当金]	△ 10,000	△ 10,000	0	2号基本金	871,563	871,563	0
出資金	34,028	34,302	274	4号基本金	425,000	425,000	0
長期有価証券	1,642,819	1,853,415	210,596	基本金	17,514,162	17,580,073	65,911
[徴収不能引当金]	0	0	0				
長期貸付金	90,581	91,318	737	消費収支差額	△ 9,937,575	△ 9,875,690	61,885
[徴収不能引当金]	△ 520	△ 520	0				
長期預金	100,000	100,000	0				
流動資産	660,953	695,301	34,348				
現金預金	419,003	501,651	82,648				
未収入金	216,480	165,700	△ 50,780				
[徴収不能引当金]	0	0	0				
短期貸付金	2,117	2,117	0				
短期有価証券	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
前払金	348	687	339				
修学旅行費預資産	23,005	25,146	2,141				
合計	10,270,866	10,367,087	96,221	合計	10,270,866	10,367,087	△ 96,221

(1)資産の部

- 有形固定資産は、取得額より減価償却、除却の額が上回り、前年度より減少した。
- その他の固定資産は、前年度より増加した。
- 流動資産は、前年度より減少した。
- 資産の合計として、前年度より預金を主に増加した。

(2)負債の部

- 固定負債は、長期借入金の返済、退職給与引当金の減少などにより、前年度より減少した。
- 流動負債は、前年度より増加した。
- 負債の合計としては、前年度より減少した。

(3)基本金の部

- 基本金は施設、設備等の取得及び過年度に取得のために借り入れた借入金の返済により1号基本金が、前年度より増加した。

(4)消費収支差額の部

- 消費収支差額は、当年度の消費収入超過額により、翌年度への繰越消費支出超過額は減少した。

3 参考資料

1 決算推移(平成19年度～平成24年度:過去5ヶ年と決算年度)

(1) 資金収支決算の推移

(単位:千円)

科目	年度		決算額						前年比	対5年前比
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年				
収入の部										
学生生徒等納付金収入	2,557,111	2,626,748	2,566,953	2,516,181	2,528,157	2,613,937	85,780	102.2%		
手数料収入	54,156	48,567	51,267	52,334	59,039	59,155	116	109.2%		
寄付金収入	4,450	24,827	4,400	4,836	4,800	4,877	77	109.6%		
補助金収入	829,184	794,568	770,992	751,143	736,289	696,382	▲ 39,907	84.0%		
資産運用収入	26,247	31,755	42,792	24,200	23,539	31,173	7,634	118.8%		
資産売却収入	100,811	909,292	1,497,119	1,152,111	953,719	560,147	▲ 393,572	555.6%		
事業収入	135,520	148,178	158,816	139,413	139,987	145,600	5,613	107.4%		
雑収入	271,541	145,588	153,631	196,562	222,138	167,826	▲ 54,312	61.8%		
借入金等収入	340,765	426,000	226,900	460,015	956,600	490,700	▲ 465,900	144.0%		
当該年度収入計(A)	4,319,785	5,155,523	5,472,870	5,296,795	5,624,268	4,769,797	▲ 854,471	110.4%		
前受金収入	581,687	567,271	572,119	518,955	543,202	555,502	12,300	95.5%		
その他の収入	267,707	1,238,458	802,449	507,941	335,525	463,111	127,586	173.0%		
資金収入調整勘定	△ 795,028	△ 719,246	△ 716,204	△ 756,155	△ 735,436	△ 708,902	26,534	89.2%		
前年度繰越支払資金	1,242,859	992,608	439,309	331,398	432,071	419,002	▲ 13,069	33.7%		
収入の部計	5,617,010	7,234,614	6,570,543	5,898,934	6,199,630	5,498,510	▲ 701,120	97.9%		
支出の部										
人件費支出	2,767,762	2,593,851	2,433,837	2,489,999	2,446,644	2,364,694	▲ 81,950	85.4%		
教育研究経費支出	926,503	945,999	839,913	803,797	803,589	823,545	19,956	88.9%		
管理経費支出	289,432	273,146	282,537	279,127	294,536	271,404	▲ 23,132	93.8%		
借入金等利息支出	36,607	33,351	30,184	26,324	23,928	9,428	▲ 14,500	25.8%		
借入金等返済支出	470,167	551,491	351,434	572,014	1,055,142	586,739	▲ 468,403	124.8%		
施設関係支出	2,292	1,324	4,911	7,480	530	237	▲ 293	10.3%		
設備関係支出	55,727	36,859	34,539	96,769	45,071	182,650	137,579	327.8%		
当該年度支出計(B)	4,548,490	4,436,021	3,977,355	4,275,510	4,669,440	4,238,697	▲ 430,743	93.2%		
資産運用支出	100,125	1,311,615	2,150,741	1,130,346	946,573	719,615	▲ 226,958	718.7%		
その他の支出	248,695	1,152,440	258,522	284,525	338,684	308,083	▲ 30,601	123.9%		
資金支出調整勘定	△ 272,908	△ 104,771	△ 147,473	△ 223,518	△ 174,069	△ 269,536	▲ 95,467	98.8%		
次年度繰越支払資金	992,608	439,309	331,398	432,071	419,002	501,651	82,649	50.5%		
支出の部計	5,617,010	7,234,614	6,570,543	5,898,934	6,199,630	5,498,510	▲ 701,120	97.9%		
歳入歳出差額(A)-(B)	△ 228,705	719,502	1,495,515	1,021,285	954,828	531,100	▲ 423,728	-232.2%		

(2) 資金残高の推移

(単位:千円)

科目	年度		決算額						前年比	対5年前比
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年				
長期有価証券	699,188	807,717	1,447,334	1,600,437	1,642,818	1,853,414	210,596	265.1%		
長期預金	813,000	713,000	213,000	100,000	100,000	100,000	0	12.3%		
現金預金	992,608	439,310	331,398	432,071	419,003	501,651	82,648	50.5%		
短期有価証券	0	296,476	347,901	99,977	0	0	0	0.0%		
資金残高合計	2,504,796	2,256,503	2,339,633	2,232,485	2,161,821	2,455,065	293,244	98.0%		

(3)消費収支決算の推移

(単位:千円)

科目	年度	決算額							
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	前年比	対5年前比
収入の部									
学生生徒等納付金		2,557,111	2,626,748	2,566,953	2,516,181	2,528,157	2,613,937	85,780	102.2%
手数料		54,156	48,567	51,267	52,334	59,039	59,155	116	109.2%
寄付金		7,615	28,478	7,352	8,057	8,393	8,507	114	111.7%
補助金		829,184	794,568	770,992	751,143	736,289	696,382	▲ 39,907	84.0%
資産運用収入		26,247	31,755	42,792	24,200	23,539	31,173	7,634	118.8%
資産売却差額		1,261	2,809	37,366	26,554	20,956	140,327	119,371	11128.2%
事業収入		135,520	148,178	158,816	139,413	139,987	145,600	5,613	107.4%
雑収入		271,541	145,588	163,169	326,472	229,071	168,679	▲ 60,392	62.1%
帰属収入(A)		3,882,635	3,826,691	3,798,707	3,844,354	3,745,431	3,863,760	118,329	99.5%
基本金組入額		△ 186,335	△ 152,348	△ 154,602	△ 23,880	△ 89,069	△ 65,911	23,158	35.4%
消費収入の部計		3,696,300	3,674,343	3,644,105	3,820,474	3,656,362	3,797,849	141,487	102.7%
支出の部									
人件費		2,768,482	2,590,904	2,408,730	2,375,492	2,422,468	2,306,411	▲ 116,057	83.3%
教育研究経費		1,368,836	1,384,536	1,258,133	1,192,358	1,142,477	1,123,852	▲ 18,625	82.1%
管理経費		302,459	283,926	301,076	296,085	311,617	285,623	▲ 25,994	94.4%
借入金等利息		36,607	33,351	30,184	26,324	23,928	9,427	▲ 14,501	25.8%
資産処分差額		2,028	1,528	8,784	4,892	12,058	10,652	▲ 1,406	525.2%
徴収不能引当繰入額		750	750	71,302	481	70	0	▲ 70	0.0%
徴収不能額		0	0	421	0	0	0	0	0.0%
消費支出の部計(B)		4,479,162	4,294,995	4,078,630	3,895,632	3,912,618	3,735,965	▲ 176,653	83.4%
消費収支差額		△ 782,862	△ 620,652	△ 434,525	△ 75,158	△ 256,256	61,884	318,140	-7.9%
帰属収支差額(A)-(B)		△ 596,527	△ 468,304	△ 279,923	△ 51,278	△ 167,187	127,795	294,982	-21.4%

◆◆◆ 主要財務比率の経年比較表 ◆◆◆

比率	算式(x100)	決算							
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	前年比	対5年前比
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	71.3%	67.7%	63.4%	61.8%	64.7%	59.7%	-5.0%	-11.6%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	108.3%	98.6%	93.8%	94.4%	95.8%	88.2%	-7.6%	-20.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	35.3%	36.2%	33.1%	31.0%	30.5%	29.1%	-1.4%	-6.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.8%	7.4%	7.9%	7.7%	8.3%	7.4%	-0.9%	-0.4%
消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	115.4%	112.2%	107.4%	101.3%	104.5%	96.7%	-7.8%	-18.7%

(4)貸借対照表の推移

(単位:千円)

科目	年度	決算額							
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	前年比	対5年前比
資産の部									
固定資産		10,843,872	10,432,630	10,083,512	9,815,065	9,609,913	9,671,786	61,873	89.2%
有形固定資産		9,173,447	8,764,439	8,361,160	8,057,719	7,738,887	7,589,153	▲ 149,734	82.7%
土地		2,136,375	2,136,375	2,136,375	2,133,275	2,133,275	2,122,202	▲ 11,073	99.3%
建物		5,907,676	5,626,047	5,348,634	5,093,360	4,870,683	4,674,701	▲ 195,982	79.1%
構築物		392,099	349,053	310,966	286,066	257,097	236,323	▲ 20,774	60.3%
教育備品		484,014	412,368	337,138	325,810	270,068	360,103	90,035	74.4%
その他備品		23,801	25,235	22,522	21,064	20,854	20,001	▲ 853	84.0%
図書		229,482	215,361	205,525	198,144	186,910	175,823	▲ 11,087	76.6%
その他の固定資産		1,670,425	1,668,191	1,722,352	1,757,346	1,871,026	2,082,633	211,607	124.7%
電話加入権		4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	4,068	0	100.0%
差入保証金		30,050	30,050	10,050	10,050	10,050	10,050	0	33.4%
徴収不能引当金		△ 18,750	△ 19,500	△ 10,000	△ 10,000	△ 10,000	△ 10,000	0	53.3%
出資金		33,567	33,694	33,815	33,925	34,028	34,302	274	102.2%
長期有価証券		699,188	807,717	1,447,334	1,600,437	1,642,819	1,853,415	210,596	265.1%
徴収不能引当金		0	0	△ 71,302	△ 71,302	0	0	0	0.0%
長期貸付金		109,302	99,162	95,387	90,168	90,581	91,318	737	83.5%
徴収不能引当金		0	0	0	△ 450	△ 520	△ 520	0	0.0%
長期預金		813,000	713,000	213,000	100,000	100,000	100,000	0	12.3%
施設拡充引当特定資産		0	0	0	0	0	0	0	0.0%
施設拡充等引当特定資産		0	0	0	0	0	0	0	0.0%
国際文化交流引当特定資産		0	0	0	0	0	0	0	0.0%
流動資産		1,262,660	905,074	864,118	754,744	660,953	695,301	34,348	55.1%
現金預金		992,608	439,310	331,398	432,071	419,003	501,651	82,648	50.5%
未収入金		246,414	137,559	149,116	184,037	216,480	165,700	▲ 50,780	67.2%
徴収不能引当金		0	0	0	△ 31	0	0	0	0.0%
短期貸付金		0	2,117	2,118	2,117	2,117	2,117	0	0.0%
短期有価証券		0	296,476	347,901	99,977	0	0	0	0.0%
仮払金		142	62	0	0	0	0	0	0.0%
前払金		2,315	1,630	1,817	1,658	348	687	339	29.7%
修学旅行費預り資産		21,181	27,920	31,768	34,915	23,005	25,146	2,141	118.7%
資産の部合計		12,106,532	11,337,704	10,947,630	10,569,809	10,270,866	10,367,087	96,221	85.6%

科目	年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	前年比	対5年前比
負債の部									
固定負債		2,486,623	2,358,242	2,221,271	1,908,462	1,776,463	1,695,913	▲ 80,550	68.2%
長期借入金		1,063,788	938,354	826,490	728,113	629,374	532,535	▲ 96,839	50.1%
退職給与引当金		1,422,835	1,419,888	1,394,781	1,150,364	1,119,287	1,060,150	▲ 59,137	74.5%
長期未払金		0	0	0	29,985	27,802	103,228	75,426	0.0%
流動負債		1,076,631	904,487	931,306	917,573	917,816	966,791	48,975	89.8%
短期借入金		125,491	125,434	112,764	99,142	99,339	100,139	800	79.8%
未払金		272,487	104,059	147,313	193,350	179,610	193,924	14,314	71.2%
前受金		581,687	567,271	572,371	518,955	543,202	555,502	12,300	95.5%
預り金		75,785	79,803	67,090	71,211	72,660	92,079	19,419	121.5%
修学旅行費預り金		21,181	27,920	31,768	34,915	23,005	25,147	2,142	118.7%
負債の部合計		3,563,254	3,262,729	3,152,577	2,826,035	2,694,279	2,662,704	▲ 31,575	74.7%
基本金の部									
1号基本金		15,797,699	15,950,048	16,104,649	16,128,530	16,217,599	16,283,510	65,911	103.1%
2号基本金		871,563	871,563	871,563	871,563	871,563	871,563	0	100.0%
4号基本金		425,000	425,000	425,000	425,000	425,000	425,000	0	100.0%
基本金の部合計		17,094,262	17,246,611	17,401,212	17,425,093	17,514,162	17,580,073	65,911	102.8%
消費収支差額合計		△ 8,550,984	△ 9,171,636	△ 9,606,159	△ 9,681,319	△ 9,937,575	△ 9,875,690	61,885	115.5%
負債・基本金・収支差額合計		12,106,532	11,337,704	10,947,630	10,569,809	10,270,866	10,367,087	96,221	85.6%

2 人員推移(過去5ヶ年[平成19年度～平成23年度]、決算年度及び次年度)

(1)教職員数推移表

(単位:人)

部門	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年度		平成24年度		平成25年度		対5年前比(H24/H19)	
	教員	職員	教員	職員	教員	職員	教員	職員	教員	職員	教員	職員	教員	職員	教員	職員
法人	-	4	-	3	-	3	-	4	-	4	-	4	-	3	-	100%
大学	102	66	101	55	95	53	102	60	104	67	102	63	97	65	100%	95%
短大	24	16	23	14	23	15	21	15	20	15	19	14	20	14	79%	88%
高校	50	11	46	14	44	13	41	11	39	9	40	7	44	6	80%	64%
中学	10	2	10	2	10	2	10	2	9	2	8	1	8	1	80%	50%
園田幼	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	100%	-
学が丘幼	7	4	7	3	7	1	7	1	7	1	7	1	7	2	100%	25%
計	196	103	190	91	182	87	184	93	182	98	179	90	179	91	91%	87%
対前年比	2	△ 4	△ 6	△ 12	△ 8	△ 4	2	6	△ 2	5	△ 3	△ 8	0	1		

*学が丘幼稚園の職員には、常勤嘱託を含む(H19・H20)

(2)学生・生徒・園児在籍者数推移表

(単位:人)

部門	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年度		平成24年度		平成25年度		対5年前比(H24/H19)	
	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者	入学者	在籍者
大学	360	1,416	395	1,437	339	1,428	354	1,408	350	1,394	402	1,418	409	1,483	112%	100%
短大	207	425	199	407	159	353	180	340	176	358	197	377	178	376	95%	89%
高校	199	548	168	532	143	498	147	446	162	440	177	475	239	566	89%	87%
中学	33	78	42	104	39	113	21	100	17	75	34	73	28	79	103%	94%
園田幼	27	62	27	54	26	52	34	60	38	68	33	69	37	70	122%	111%
学が丘幼	70	199	76	193	74	191	77	199	72	195	74	195	73	198	106%	98%
計	896	2,728	907	2,727	780	2,635	813	2,553	815	2,530	917	2,607	964	2,772	102%	96%
対前年比	△ 13	△ 61	11	△ 1	△ 127	△ 92	33	△ 82	2	△ 23	102	77	47	165		

(3)入試データの推移大学 実質倍率:志願者数/合格者数

大学(未来デザイン学部)

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
入学定員	125	85	50					-
合格者	62	47	42					-
志願者数	76	53	45					-
実質倍率	1.23	1.13	1.07	-	-	-	-	-

大学(人間健康学部)

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
入学定員	310	255	255	255	255	255	255	82.3%
合格者	478	419	419	449	487	477	503	99.8%
志願者数	1,016	869	917	1,121	1,373	1,632	1,602	160.6%
実質倍率	2.13	2.07	2.19	2.50	2.82	3.42	3.18	161.0%

大学(人間教育学部)

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
入学定員		95	95	115	115	115	95	-
合格者		130	111	109	119	197	198	-
志願者数		144	125	135	152	237	259	-
実質倍率		1.11	1.13	1.24	1.28	1.20	1.31	-

短期大学部

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
入学定員	210	210	210	210	210	210	210	100.0%
合格者	280	281	252	253	229	304	250	108.6%
志願者数	339	321	279	282	247	328	292	96.8%
実質倍率	1.21	1.14	1.11	1.11	1.08	1.08	1.17	89.1%

高等学校

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
募集定員	320	320	320	320	320	310	270	96.9%
合格者	965	931	922	984	964	1,066	1,119	110.5%
志願者数	991	935	924	986	967	1,070	1,121	108.0%
実質倍率	1.03	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	97.7%

中学校

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
募集定員	50	50	50	60	60	60	60	120.0%
合格者	35	43	41	22	19	34	29	97.1%
志願者数	44	55	45	27	28	38	30	86.4%
実質倍率	1.26	1.28	1.10	1.23	1.47	1.12	1.03	88.9%

園田学園幼稚園

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
募集定員	35	35	35	35	35	35	35	100.0%
合格者	29	30	27	35	38	36	37	124.1%
志願者数	30	30	27	35	38	36	39	120.0%
実質倍率	1.03	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.05	96.7%

学が丘幼稚園

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
募集定員	70	70	70	70	70	70	70	100.0%
合格者	74	81	77	79	72	78	73	105.4%
志願者数	87	103	82	79	82	89	97	102.3%
実質倍率	1.18	1.27	1.06	1.00	1.14	1.14	1.33	97.1%

合計

(単位:人)

年度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年度	平成24年度	平成25年度	対5年前比(H24/H19)
入学・募集定員	1,120	1,025	1,085	1,065	1,065	1,055	995	94.2%
合格者	1,923	1,832	1,891	1,931	1,928	2,192	2,209	114.0%
志願者数	2,583	2,366	2,444	2,665	2,887	3,430	3,440	132.8%
実質倍率	1.34	1.29	1.29	1.38	1.50	1.56	1.56	116.5%